

4人の本を 読んでみたい!!

『空からのぞいた桃太郎』の解説には、4人の考えが書いてあるという本の名前はのっていませんでした。そこで、お母さんをお願いしてインターネットで検索してもらいました。

絵本ナビ (<https://www.ehonnabi.net/style/492/6/>) に著者である影山徹さんと岩崎書店代表取締役（当時）の岩崎夏海さんへのインタビュー記事がありました。そこから、本の題名がわかってきました。

- 福沢諭吉 → 『ひゞのをしへ』
- 芥川龍之介 → 『桃太郎』
- 池澤夏樹 → 朝日新聞に掲載された随筆「桃太郎と教科書 知的な反抗精神を養って」(2014年12月2日)に、自身の著作『母なる自然のおっばい』(1992年、新潮社)からの引用文がのっていました。
- 高畑勲 → スタジオジブリ発行の小冊子『熱風』に収録された「『日本人の心性』の、ある側面について」(2015年2月号)

図書館で4人の本を借りよう!



桃太郎関係の本を貸してください。

(2018年5月19日
袖ヶ浦市立中央図書館にて)

池澤夏樹さんと芥川龍之介さんの本はありますよ。福沢諭吉さんの『ひゞのをしへ』は、ここにはありません。

福沢諭吉全集を読んできましたが、『ひゞのをしへ』だけは、どうしても見つからず、後日もう一度図書館に行き、相談しました。すると司書さんが探しておいてくださって、近くだと、木更津市立図書館に所蔵されていることがわかりました。他にも、私が探している本が見つかるまで相談にのってくださいました。とても心強かったです。ありがとうございました。

ももたろう 桃太郎の本を 読み比べてみる

赤…桃太郎は盗人ではない。 青…桃太郎は盗人。 黒…不明

本の題名／著者名／刊行年／出版社名	おにたいじ 鬼退治に行く理由	おに 鬼はどんな悪いことをしていたか
日本童話宝玉選 改訂版／佐藤春夫 監修／1975年／小学館	おに 鬼が悪さをしたから。	人の物を取ったり、人を食べたりしてあばれた。
ももたろう（えほん・こどもとともに）／赤座憲久文・小沢良吉絵／1991年／小峰書店	おに 鬼が悪さをしたから。	旅人をおそったり、むすめや子どもをさらっていった。
ももたろう（講談社の創作絵本）／代田昇文・箕田源二郎絵／1978年／講談社	おに 鬼が悪さをしたから。	しお、米、あわ、若いむすめや子どもをさらう。
ももたろう（松谷みよ子むかしばなし）／松谷みよ子作・和歌山静子絵／1993年／童心社	おに 鬼が悪さをしたから。	村の畑をあらしたり、むすめや子どもをさらう。
ももの子たろう（むかしむかし絵本）／大川悦生文・箕田源二郎絵／1967年／ポプラ社	とんびに「おにたいじにいけっちゃ」と言われて行く。	むすめや子どもをさらったり、田んぼや畑をあらしたり、悪い病気をはやらせた。
ももたろう（日本の昔話えほん）／山下明生文・加藤休ミ絵／2009年／あかね書房	おに 鬼が悪さをしたから。	畑をあらし、むすめをさらい、お城の宝ものを盗んだ。
ももたろう／馬場のぼる文・絵／1999年／こぐま社	おに 鬼が悪さをしたから。 （殿様に「おにどもをたいじしてまいれ」と言われて行く）	あばれた。

本の題名／著者名／刊行年／出版社名	おにたいじ 鬼退治に行く理由	おに 鬼はどんな悪いことをしていたか
桃太郎が語る桃太郎（1人称童話シリーズ）／クゲユウジ文・岡村優太絵／2017年／高陵社書店	おに 鬼が悪さをしたから。	宝をねこそぎ取る。
ももたろう（世界傑作絵本シリーズ）／松居直文・赤羽末吉絵／1965年／福音館書店	からずにおに 鬼が悪さをしているといわれて鬼退治に行った。	村の米をとったり、姫をさらったりした。
新・講談社の絵本 桃太郎／千葉幹夫文・構成・斎藤五百枝絵／2001年／講談社	おに 鬼が悪さをしたから。	らんぼうをはたらいたり、物を奪ったりする。
子どもに語る 日本の昔話3（ももたろう）／稲田和子・筒井悦子著／1996年／こぐま社	どのさま おにたいじ 殿様が「鬼退治に行かせよう」と言った。	物をとったりあばれたりしたが、涙を流してあやまった。
岡山県の民話／日本児童文学者協会編／2000年／偕成社	どのさま 殿様に「おにたいじにいけ」と言われる。	おに 鬼は悪くなかった。
むかしむかしあるところに／楠山正雄作／1996年／童話屋	なし	「悪い鬼ども」と書かれている。
日本昔話3ももたろう／おざわとしお再話・赤羽末吉画／1995年／福音館書店	なし	村をあらしたり、子どもをさらったりした。
みんなでやろうももたろう（わたしのえほん）／さくらともこ再話・せべまさゆき絵／2001年／PHP研究所	おに 鬼が悪さをしたから。	くわしくは書いていない。
それからのおにがしま／川崎洋さく・国松エリカ文／2004年／岩崎書店	なし	なし
空からのぞいた桃太郎／影山徹著／2017年／岩崎書店	なし	本文では書かれていない。桃太郎が宝ものをとりあげた。解説を読むと、鬼は悪くなかった。
筑摩全集類聚芥川龍之介全集3／芥川龍之介著／1971年／筑摩書房	仕事に出るのがいやだったから。	おに 鬼は悪くなかった。むしろ桃太郎が悪い。

全部で18冊の桃太郎を読みました。同じ「桃太郎」の本でも、ストーリーが色々あっておもしろかったです。でも正義の味方だと

鬼とは、 何者なのだろうか？

「桃太郎」の本を読んでも、鬼が悪いことをしたと書いていなくても、「鬼は悪い者である」と一方的に決めつけられていることがわかりました。

私のイメージする鬼も、角があって、恐ろしい顔をしていて、人々をおそう……とにかく恐ろしい存在です。

私が悪いことをしたり、言うことを聞かなかったりすると、きまってお母さんに「鬼に食べられるよ」と言われていたことを思い出しました。
私、こわくて泣いてたなあ。

夜、全然寝つけなかったなあ。



でも、小学校の国語の授業で学習した鬼は、とてもやさしい鬼ばかりで、鬼の中には、やさしい鬼、よい鬼もあるんじゃないかなとも思っています。

「鬼とは何者なのか？」

図書館でたくさん本を借りて読み、鬼について私なりに考えてみたいです。

「鬼の本」も資料編③読み比べリスト(→P115)にのせているよ。



じゃあ次は、鬼の語源や鬼の存在について調べていこう！

鬼の語源について調べてみた!!

①「隠（オン）」

隠形の隠であり隠れた存在、姿の见えないのが本来の鬼である。

参考●『鬼の伝説』邦光史郎著、1996年、集英社、P16

②「陰（オン）」

見えないものを意味する「陰」がなまったもの。

参考●『大人のための妖怪と鬼の昔ばなし』2014年、綜合図書、P12

漢字がちがうけれど「オン」が「オニ」になったというのは同じだね。それに、姿が見えないもの、目に見えないものが鬼ということだね。



『鬼が出た』（大西廣文・梶山俊夫ほか絵、1989年、福音館書店、P8）では、鬼は人間の想像から生まれたもので、病気や貧乏、争いごとや、いやなものこわいものはみんな鬼だと書かれています。

『大人のための妖怪と鬼の昔話』（綜合図書、P12）には、「災難や疫病など、よくないことが起こればその原因を鬼の所業と考えた」と書かれています。

まとめると、鬼が人間に対して何かをしたのではなくて、人間にとって何か悪いことが起きると鬼のしわざだと思ってきたということだろうか。

よつばの調べ学習の旅

7月21日に愛知県犬山市にある桃太郎神社に行ってきました!!



桃の鳥居の前でパチリ!
愛知県犬山市の木曾川沿
岸に桃太郎誕生地伝説が
あります。とてもおもしろい神社でした。

わーい

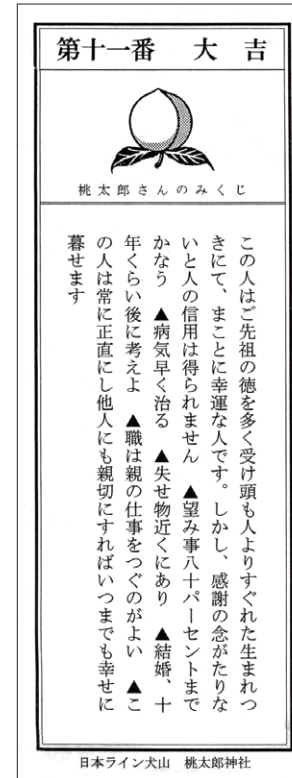


(2018年7月21日 桃太郎神社にて)

「桃太郎」のお話にてくる
動物や鬼、おじいさん、おばあさんの像がありました。
なんとかわいらしい鬼!



桃太郎神社の中はとってもおもしろい!!



桃めぐりをすると、百年まで健康で長生きと言われていたそうです。



おみくじで大吉が出ました!

目からポロポロと涙を流していました。反省しているのが伝わってくるね。



(2018年7月21日 桃太郎神社にて)